

安心・安全な  
施設の整備

施設総量・  
規模の適正化

利用機会  
の拡大

## 1. 安心・安全な施設の整備

- ① 定期的な施設の安全点検や劣化状況等から将来を予測して改修等を実施する予防保全型の施設管理を行い事故の無い安全な施設とする必要があります。
- ② 利用者の声や安全点検結果で危険な状況が分かった施設は速やかな措置を行うことで安全を確保することが必要です。
- ③ 近年の猛暑日の増加を考慮し、熱中症を予防するため、飲料水設備や日除け設備等の整備が必要です。
- ④ 屋内スポーツ施設である総合体育館は、空調設備が未設置であり、熱中症を予防するため、空調設備の整備を行う必要があります。同時に安全に配慮した施設貸出ルールや料金収納の在り方について、検討を行う必要があります。
- ⑤ バリアフリー対応により高齢者、障がい者を含めた全ての市民が安心して利用できる施設とすることが必要です。

【課題】施設の老朽化

【課題】熱中症を未然に防止するための環境整備

## 2. 施設総量・規模の適正化

- ① 財源が限られる中で、今後も継続的にスポーツの出来る環境を整備・維持していくためには、競技人口やニーズの変化を捉えながら、施設総量の適正化を図っていくことが必要です。
- ② 施設の稼働率など多摩市民の施設利用状況や収支状況などに一定の課題のある施設は、その改善策の検討と実施が必要です。
- ③ 利用率の低い施設や収支状況に課題のある施設については、必要な設備の見直しなどによる規模の縮小や他施設との集約化・複合化や用途変更も含めた見直しの検討を行うことで、スポーツ施設全体の総量適正化とライフサイクルコスト縮減が必要です。

【課題】河川敷に設置されたスポーツ施設の在り方

【課題】施設の稼働率や収支状況

## 3. 利用機会の拡大

- ① 現在のスポーツ施設を設置後、時代は大きく変化しており、市民の行うスポーツ競技も大きく変化し、多様化してきています。現在の施設は限られた競技にのみ利用可能な施設となっていることから、市民のスポーツ需要の変化に柔軟に対応し、子どもから高齢者までより多くの方がスポーツに親しむことの出来るスポーツ施設の整備が必要です。
- ② 施設の利用ルールについて、柔軟に見直しを行い、多くの市民にとって利用しやすい施設とすることが必要です。
- ③ 体育施設は全て公園内に設置されており、スポーツ施設利用者の駐車場を確保するとともに、公園全体を市民に利用され魅力あるものとするためにも駐車場の拡充と有料化の検討が必要です。

【課題】利用されているスポーツ競技が限定的

【課題】気軽にスポーツが出来る場の確保

【課題】駐車場台数の不足